

平成 30 年 2 月 9 日

各 位

会社名 株 式 会 社 ユ ー グ レ ナ
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 出 雲 充
(コード番号：2931)
問合せ先 取 締 役 永 田 暁 彦
財務・経営戦略担当
(TEL.03-3454-4907)

株式取得及び簡易株式交換による株式会社フックの完全子会社化に関するお知らせ

株式会社ユーグレナ（以下「当社」といいます）は、本日開催の取締役会において、株式会社フック（以下「フック」といいます）の発行済株式の一部を取得し（以下「本株式取得」）、その後当社を株式交換完全親会社とし、フックを株式交換完全子会社とする簡易株式交換（以下「本株式交換」といいます）を実施することを決議し、同日付で株式譲渡契約及び株式交換契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は、会社法第 796 条第 2 項の規定に基づき、簡易株式交換の手続により株主総会の決議による承認を受けずに本株式交換を行う予定です。

記

1. 本株式取得及び本株式交換による完全子会社化の目的

当社グループは、微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ、以下「ユーグレナ」といいます）の食品用途屋外大量培養技術をコア技術とし、ユーグレナに関する多様な研究開発活動を行うとともに、ユーグレナを活用した機能性食品・化粧品等の製造販売を行うヘルスケア事業、及びユーグレナを活用したバイオ燃料開発等を行うエネルギー・環境事業を展開しております。

当社グループは、ヘルスケア事業が着実な成長を遂げており、平成 29 年 9 月期の連結売上高は前期比 25.1%増となる 138 億円を達成しました。特に、当社グループ商品の直販拡大と昨今の M & A がグループ売上の成長を牽引しており、当社グループ直販の定期顧客数は平成 29 年 9 月末時点で 21 万人に到達しました。当社は、平成 28 年 11 月 9 日付で公表した中期経営目標において、平成 32 年 9 月期までに「グループ連結売上高 300 億円の達成」を目指しており、引き続き直販を中心にヘルスケア事業の拡大を進めてまいります。

一方、フックは、高品質でバランスの良い栄養素の提供により、美しく健康的なカラダ作りを実現することを掲げて、自社 EC サイト「美的タウン」等を通じて、美意識の高い女性を中心とした顧客層向けに天然成分にこだわったサプリメント・健康食品等を販売しております。特に、妊娠の可能性のある女性に対して摂取が推奨されている（※）葉酸に、各種ビタミン・ミネラルを配合したサプリメント「美的ヌーボ」や、更に DHA・EPA を加えた「美的ヌーボ プレミアム」は、多くの著名人にもファンが多く、発売開始から 5 年でシリーズ累計 1,000 万包を突破する等、同社の売上成長を牽引しております。

(※) 「神経管閉鎖障害の発症リスク低減のための妊娠可能な年齢の女性等に対する葉酸の摂取に係る適切な情報提供の推進について」(平成12年12月28日、厚生省児童家庭局母子保健課長、保健医療局地域保健・健康増進栄養課生活習慣病対策室長通知)

本株式取得及び本株式交換により、当社が持つ通販事業基盤、マーケティング力、商品開発力及び資金力と、フックが持つ女性を中心とした顧客基盤及びブランド力を組みあわせながら協業を進めることで、更なる当社ヘルスケア事業の拡大が可能になるとの判断から、本株式取得及び本株式交換に至りました。

2. 本株式取得及び本株式交換の方法

当社は、フックの発行済株式数1,200株のうち、本株式取得により534株を購入し、残り666株については本株式交換により取得し、これらによりフックを完全子会社化する予定です。

3. 本株式取得の概要

(1) 本株式取得の日程

株式譲渡契約締結決議取締役会(当社)	平成30年2月9日
株式譲渡契約締結(両社)	平成30年2月9日
株式譲渡承認臨時株主総会(フック)	平成30年2月9日(予定)
株式取得日	平成30年2月26日(予定)

(注) 株式取得日は、両社の合意により変更されることがあります。

(2) 本株式取得の相手先の概要

(1) 名称	Girl From Mars B.V.	
(2) 住所	オランダ、アムステルダム	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 富安 優太	
(4) 大株主及び持株比率	富安 優太 (100%)	
(5) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(注) 富安優太氏はフックの代表取締役を務めております。

(3) 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数:0個) (議決権所有割合:0%)
(2) 取得株式数	534株 (議決権の数:534個)
(3) 取得価額	801百万円 (1株当たり1,500,000円)
(4) 異動後の所有株式数	534株 (議決権の数:534個) (議決権所有割合:44.5%)

(注) 下記4.記載の本株式交換の実施をもって、当社の所有株式数は1,200株(議決権の数:1,200個)、議決権所有割合は100%となる予定です。

(4) 取得価額の算定根拠

当社は、上記の取得価額を決定するに当たり、当社及びフックから独立した第三者算定機関である朝日ビジネスソリューション株式会社（以下「朝日ビジネスソリューション」といいます）に算定を依頼し、その算定結果を参考として当事者間で協議を行った結果、上記の取得価額にて合意いたしました。なお、朝日ビジネスソリューションの算定の根拠等は、「4. 本株式交換の概要 (5) 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等」のとおりです。

4. 本株式交換の概要

(1) 本株式交換の日程

株式交換契約締結決議取締役会（当社）	平成 30 年 2 月 9 日
株式交換契約締結（両社）	平成 30 年 2 月 9 日
株式交換承認臨時株主総会（フック）	平成 30 年 2 月 9 日（予定）
株式交換効力発生日	平成 30 年 4 月 1 日（予定）

(注 1) 当社は、会社法第 796 条第 2 項の規定に基づき、簡易株式交換の手続により株主総会の決議による承認を受けずに本株式交換を行う予定です。

(注 2) 株式交換効力発生日は、両社の合意により変更されることがあります。

(2) 本株式交換の方式

当社は、会社法第 796 条第 2 項の規定に基づき、簡易株式交換の手続により株主総会の決議による承認を受けずに本株式交換を行う予定です。フックは、平成 30 年 2 月 9 日に開催予定の臨時株主総会の決議による承認を受けた上で本株式交換を行う予定です。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

会社名	株式会社ユーグレナ (株式交換完全親会社)	株式会社フック (株式交換完全子会社)
株式交換に係る割当比率 (株式交換比率)	1	1,446
株式交換により交付する株式数	普通株式：963,036 株	

(注) 株式交換比率及び交付する株式数等

フック株式 1 株に対し、当社普通株式 1,446 株を割当交付します。ただし、当社が本株式交換の効力発生日(平成 30 年 4 月 1 日予定)時点において保有するフック株式については、本株式交換による株式の割当ては行いません。

本株式交換により交付する当社の普通株式の数は 963,036 株となる予定です。当社は、本株式交換による株式の交付に際し、新たに普通株式を発行する予定です。

(4) 本株式交換に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

本株式交換により完全子会社となるフックは、新株予約権及び新株予約権付社債のいずれも発行していないため該当事項はありません。

(5) 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

当社の株式価値については、当社が東京証券取引所市場第一部に上場していることから、市場価格を参考に算定いたしました。具体的には、株式交換契約締結日にできる限り近い時期の株価が株式交換契約時の株式の価値を反映しているものと考えられることから、東京証券取引所市場第一部における株式交換契約締結日の前日の当社の株価終値から前5取引日間の平均値である1,037円を採用することにいたしました。

これに対して、フックの株式価値については、本株式交換に用いられる株式交換比率の検討に際し、その公平性・妥当性を確保するため、当社及びフックから独立した第三者算定機関である朝日ビジネスソリューションにフックの株式価値の算定を依頼しました。

朝日ビジネスソリューションは、フックの普通株式については、非上場会社であり、また、類似上場会社がないことから市場株価法および類似上場会社法は採用できず、その株式価値の源泉は将来の収益獲得能力にあることから、修正簿価純資産法ではなく、将来の事業活動の状況に基づく収益獲得能力を評価に反映させるためにディスカунテッド・キャッシュ・フロー法（DCF法）を用いて株式価値の算定を行いました。朝日ビジネスソリューションは、フックの株式価値算定に際して、提供を受けた情報、ヒアリングにより聴取した情報、一般に公開されている情報等を原則としてそのまま採用しております。また、採用したそれらの資料及び情報が全て正確かつ完全なものであること、フックの株式価値算定に重大な影響を与える可能性のある未開示の情報は存在しないこと、かつフックの将来の利益計画や財務予測が現時点における最善の予測と判断に基づき合理的に作成されていることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません。

なお、DCF法による算定の基礎となる将来の利益計画においては、本株式交換が完了する平成30年4月以降に広告宣伝活動の拡大等による売上増加や販売管理費の見直し等により、平成31年3月期及び平成32年3月期において大幅な増益を見込んでおります。

朝日ビジネスソリューションがDCF法に基づき算定した、フック普通株式の1株当たりの株式価値の算定結果は以下のとおりとなりました。

	算定結果（円/株）
DCF法	1,398,000～1,669,000円

本株式取得の実行日から本株式交換の効力発生日までの期間が短期であり、かつ、現時点では、当該期間においてフックの株式価値に重大な影響を与える可能性のある事象が発生するおそれを認識していないことから、朝日ビジネスソリューションによるフックの株式価値の算定結果を参考に、フックの財務の状況、資産の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、当事者間で慎重に協議を重ねた結果、当社は本株式取得と本株式交換のいずれについてもフック普通株式の1株当たりの価額を1,500,000円とし、本株式交換における株式交換比率を上記4.(3)記載のとおりとすることを決定しました。

(6) 上場廃止となる見込み及びその事由

当社は本株式交換において株式交換完全親会社となり、また株式交換完全子会社であるフックは非上場会社のため、該当事項はございません。

5. 本株式交換の当事会社の概要

	株式交換完全親会社	株式交換完全子会社
(1) 名 称	株式会社ユーグレナ	株式会社フック
(2) 所 在 地	東京都港区芝五丁目 29 番 11 号	東京都渋谷区二丁目 11 番 5 号
(3) 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 出雲 充	代表取締役 富安 洋子
(4) 事 業 内 容	1. ユーグレナ等の微細藻類等の研究 開発、生産 2. ユーグレナ等の微細藻類等の食 品、化粧品の製造、販売 3. ユーグレナ等の微細藻類等のバイオ 燃料技術開発、環境関連技術開発 4. バイオテクノロジー関連ビジネス の事業開発、投資等	1. 健康食品・化粧品の企画 2. E コマース事業 3. 商品卸売販売
(5) 資 本 金	54 億 2,424 万円 (平成 29 年 12 月 31 日現在)	5,995 万円 (平成 30 年 2 月 9 日現在)
(6) 設 立 年 月 日	平成 17 年 8 月 9 日	平成 21 年 4 月 1 日
(7) 発 行 済 株 式 数	84,832,036 株 (平成 29 年 12 月 31 日現在)	1,200 株 (平成 30 年 2 月 9 日現在)
(8) 決 算 期	9 月 30 日	3 月 31 日
(9) 従 業 員 数	308 名 (連結) (平成 29 年 9 月 30 日現在)	14 名 (平成 30 年 1 月 31 日現在)
(10) 主 要 取 引 先	一般消費者、武田薬品工業(株)等 OEM 取引先、伊藤忠商事(株)、アピ(株)・(株)三 協等仕入先、等	一般消費者、等
(11) 主 要 取 引 銀 行	三井住友銀行、みずほ銀行	三井住友銀行、みずほ銀行
大 株 主 及 び (12) 持 株 比 率	出雲 充 14.48% (株)インスパイア 2.11% JXTG ホールディングス(株) 1.77% 東京センチュリー(株) 1.77% 日本トラスティ・サービス 1.73% 信託銀行(株)(信託口 5) 日本トラスティ・サービス 1.28% 信託銀行(株)(信託口) 日本トラスティ・サービス 1.22% 信託銀行(株)(信託口 1) 日本トラスティ・サービス 1.19% 信託銀行(株)(信託口 2) 鈴木 健吾 1.09%	Girl From Mars B.V. 100% (平成 30 年 2 月 9 日現在)

	日本コルマー(株) (平成 29 年 9 月 30 日現在)	0.88%					
(13)	当事会社間の関係						
	資 本 関 係	該当事項はありません。					
	人 的 関 係	該当事項はありません。					
	取 引 関 係	該当事項はありません。					
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。					
(14)	最近3年間の経営成績及び財政状態（単位：百万円。特記しているものを除く。）						
		株式会社ユーグレナ（連結）		株式会社フック（個別）			
	決算期	平成 27 年 9 月期	平成 28 年 9 月期	平成 29 年 9 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
	純 資 産	12,701	13,422	15,655	22	42	70
	総 資 産	14,523	15,526	18,858	145	263	381
	1 株 当 たり 純 資 産（円）	154.58	162.35	185.47	114,769	212,002	58,765
	売 上 高	5,924	11,103	13,886	721	992	1,194
	営 業 利 益	476	693	950	3	23	△27
	経 常 利 益	726	944	1,207	12	34	△20
	親会社株主に帰属 する当期純利益	469	673	785	7	19	△22
	1 株 当 たり 当期純利益(円)	5.85	8.18	9.44	39,034	97,232	△28,335
	1 株 当 たり 配 当 金（円）	-	-	-	-	-	-

6. 本株式交換後の状況

	株式交換完全親会社
(1) 名 称	株式会社ユーグレナ
(2) 所 在 地	東京都港区芝五丁目 29 番 11 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 出雲 充
(4) 事 業 内 容	1.ユーグレナ等の微細藻類等の研究開発、生産 2.ユーグレナ等の微細藻類等の食品、化粧品等の製造、販売 3.ユーグレナ等の微細藻類等のバイオ燃料技術開発、環境関連技術開発 4.バイオテクノロジー関連ビジネスの事業開発、投資等
(5) 資 本 金	54 億 2,424 万円
(6) 決 算 期	9 月 30 日
(7) 純 資 産	現時点では確定しておりません。
(8) 総 資 産	現時点では確定しておりません。

7. 会計処理の概要

本株式取得及び本株式交換に伴う会計処理は、企業結合会計基準における「取得」に該当し、当社によるフックの取得処理となります。この処理に伴い当社側でのれんが発生する見込みですが、のれんが発生した場合における金額及び償却年数など、現時点では確定しておりませんので確定次第開示いたします。

8. 今後の見通し

本株式取得及び本株式交換が当社の連結業績に与える影響等につきましては現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

なお、当社グループ参画後のフックの事業計画は下記の通りです。

(単位：百万円)

	平成 31 年 3 月期	平成 32 年 3 月期
売上高	1,239	1,535
営業利益	110	275
経常利益	108	273

(参考) 当社の当期連結業績予想 (平成 29 年 11 月 10 日公表分) 及び前期連結実績

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成 30 年 9 月期)	18,000	-	-	-
前期連結実績 (平成 29 年 9 月期)	13,886	950	1,207	785